

# Beehive『ビーハイブ』

蜂の巣に見立てたボード上に駒を配置するゲームです。駒に書かれた数字によって駒を配置できる場所が制約され、相手が駒を置けなくなるように自分の駒を配置していき勝敗が決まります。

駒を置くマスは全19個あります。ボードデザイン上、全てのマスが描かれていません。

## 『基本ルール』（2人用）

### 【持ち駒】

各々数字が記入されている①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩の10個が持ち駒です。

持ち駒の他に、プレーの最初に置く駒①Iが1個あります。

### 【プレーの仕方】

先手後手を決めて、先手は1手目に駒①Iをボードの中央のマス以外の好きなマスに配置します。

（ただし先手がシンメトリー戦略を取らない約束のルールであれば中央のマスに置いて可）

その後は、後手先手と交互に駒をボードのマスに置いていきますが、2手目以降は駒を置く時、既にボードに置かれた駒に必ず接するように、置かなくてはなりません。

ボードに配置された駒に接する面が1辺の時は、接する駒の数字よりも大きな数字で、偶数の時は偶数を、奇数の時は奇数を、置かなくてはなりません。

たとえば③の駒があった場合、3より大きい奇数駒の⑤か⑦か⑨が置けます。

⑨または⑩の駒に1辺だけ接する時は、それ以上大きな奇数偶数の駒が無いので、駒を置く事ができません。

配置された駒に接する面が2辺以上の場合、接する駒の数字を全て足した合計の一の位の数字と同じ数字のみを、置くことができます。たとえば③と⑤に接していれば⑧を、②と⑤と⑨に接していれば⑥を置くことができます。

下1桁が「0」の場合は「10」とみなします。

### 【勝敗】

途中で駒を置くことが出来なくなった時点で負けとなります。

ボードに隙間無くお互いに9個の駒を置いた場合もゲームオーバーです。

その場合は残った手持ちの駒の数字の大きい方が勝ちとなります。

数字が同点の場合は先手が勝ちとなります。

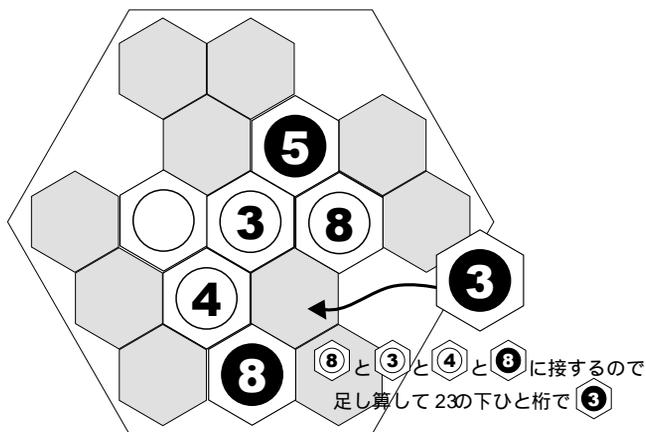
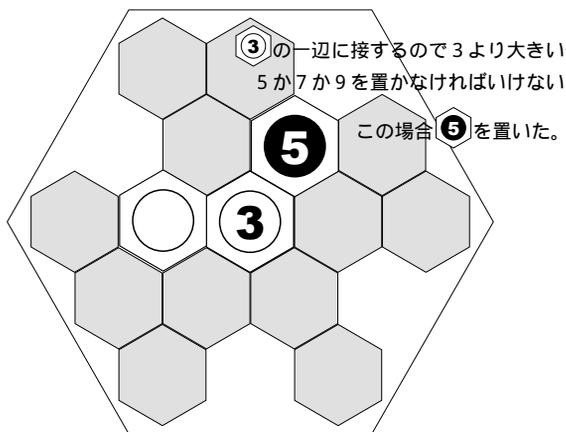
## 『1人用ルール』

基本的な進め方は2人用と同じです。

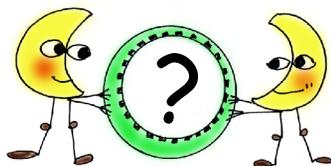
初級：初めに中立駒「1」を好きな場所に置き、その後も1人で2種類の駒を交互に置いて行きます。

盤面のマス（19個）に全て置ければ上がりです。結構難しいです。

上級：最後に残る数字を指定（たとえば「10」を残すとか）して除外します。それ以外の駒を全て置ければ上がり。



プレー人数：2人  
時間：5分～20分  
年齢：8才+  
\*注意：駒などの小さなタイルは子供が飲み込む恐れがあります。手の届かない場所に保管しプレーをしてください。



[www.logygames.com](http://www.logygames.com)

発売元 株式会社ギフトボックス  
198-0102 東京都西多摩郡奥多摩町川井558-1

E-mail: [moonwalker@logygames.com](mailto:moonwalker@logygames.com) tel:0428-85-2070 fax:0428-85-2071